

環境報告書 2012

Environmental Report





社長メッセージ

「当社は建設事業活動の全てにおいて安全で
快適な環境の創造と環境負荷の低減に努めます」



2011年3月11日に発生した東日本大震災は私たちに未曾有の経験をもたらしました。いまだにその爪あとは深く残り、今後、私たちが克服しなければならない多くの課題が山積しております。このような状況のなかで昨年度当社は、東日本大震災の復旧・復興を最優先にし、全精力を注ぎ込んだ結果、東北新幹線及び在来線等JR東日本の鉄道輸送網の速やかな運転再開に漕ぎ着けることができました。又、仙台空港アクセス線をはじめ東北地方の多くの鉄道の復旧工事や自治体からのガレキ処理や公営住宅等の復旧工事にも尽力し、関係各社等から感謝の言葉をいただき、復旧への迅速、確実な対応に対しては社会から一定の評価をいただいたものと考えております。

本年も当社を取り巻く環境といたしましては、東北の被災地区の本格的な復興が正念場を迎えております。鉄道関係についても石巻線、仙石線の一部区間は運転再開にこぎつけたものの、他の津波線区の復旧はまさにこれからが正念場であります。

かかる状況を踏まえ、当社といたしましては、平成24年度経営計画において「震災復興への引き続きの貢献」を掲げ、これまでに蓄積してきた確かな建設技術、省エネルギー技術、適正な廃棄物処理等の持てる技術を確実に実施し、良質かつ誠実な施工に徹することで、人と自然が共生する豊かな地域社会の復興に向けてお応えしていきたいと考えております。今後とも皆様のなご一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年7月1日
仙建工業株式会社
代表取締役社長

吉田 幸一



事業概要 基本的要件



事業概要

社名	仙建工業株式会社
本社所在地	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目2-13 TEL 022-225-8511 FAX 022-222-4677
設立	1942年8月18日
資本金	2億5000万円
従業員数	901名
業績	2011年度 受注高 421億円 2011年度 完工高 392億円
事業内容	土木・建築、軌道、営林等建設工事一式の請負 建設工事の測量、設計及び管理、不動産の売買、 斡旋、調査、測量、管理及び賃貸業務、
事業所	本社、盛岡支店、仙台鉄道支店、福島支店 仙台支店 営業所（青森・八戸・郡山・会津若松、いわき）



目次

ごあいさつ	1
事業概要・基本的要件	2
環境方針・基本理念	3
東日本大震災への取組み	4
持続可能な社会の実現に 向けて	5
マネジメントシステム・ 法令等順守	6
目標と実績、評価	7
建設副産物対策	9
地域貢献活動の取組み	11
地球温暖化防止への対策	12
環境配慮技術	13
環境負荷低減への教育	15



報告書の基本的要件

発行目的	： 社内外への当社の環境情報開示
対象範囲	： 仙建工業株式会社（関連会社は含まず）
対象期間	： 2011年4月1日～2012年3月31日
対象分野	： 環境保全活動全般
参考指針	： 「環境報告書ガイドライン（2003年版）」環境省
作成部署	： 経営企画部 経営企画課 TEL 022-225-8536 FAX 022-222-4677



環境方針／基本理念・行動指針



環境方針

当社は今日の公害・環境問題を真摯にとらえ、建設事業活動の全てにおいて、安全で快適な環境の創造と環境負荷の低減に努めます。

【基本理念】

仙建工業は明日の地域社会の発展を願い、安全で良質な土木構築物及び建築物を提供してまいりました。一方、建設という行動過程において、騒音・振動、建設廃棄物の公害問題、建設資材の大量使用等による資源の枯渇等の問題にも大きく関わってまいりました。この現状を当社は真摯に受け止め、これからの建設事業活動の全てにおいて、安全で快適な地球環境・地域環境の創造と環境負荷の低減に努めます。この理念を実現するために行動指針を次ぎのように定めます。

【行動指針】

1. 土木構造物・建築物の設計、施工から廃棄に至る各段階で発生する当社の環境影響に対して適切に対処します。
2. 省資源、省エネルギーを進め、資源のリサイクルに努めます。
3. 環境マネジメントシステムの継続的改善及び当社の建設活動に伴い発生する大気・水質・土壌などの汚染の予防に努めます。
4. 当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
5. 当社の建設活動によって生じる環境への影響を考慮し、環境目的及び目標を定め、定期的に見直しを行います。

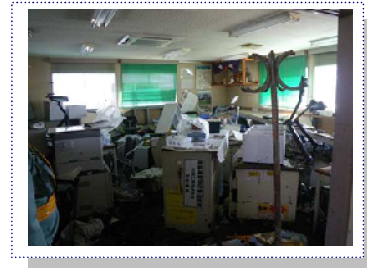


東日本大震災への取組み

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
我々は被災地に所在する企業として、故郷の一日も早い復興に向けて強い使命感を持ち、東北地方の明るい未来を創造していきます。

3月11日 14:46 地震発生！

本社を置く仙台市では震度6強を観測し、福島・盛岡両支店所在地でも震度5強の揺れに見舞われました。
発生当日はライフラインが停止し、社員及びその家族の安否確認もままならない状態であり、帰宅できない社員も数十名に上りました。翌日12日には災害対策本部を立ち上げ、安否不明者の確認作業と平行して、被害状況の確認作業を開始しました。全社員の安否が確認されたのは3月15日、地震発生から5日目のことでした。また、設備等の被害として津波により石巻土木出張所等2箇所および保線用モーターカーの冠水、地震による天井・壁等の破損が各所にみられ、10施設以上に大きな被害が発生しました。



石巻土木出張所事務所内



保線用モーターカーの冠水

震災からの復旧へ

仙建工業は鉄道施設を中心として復興に尽力しています。地震直後より、東北エリアの鉄道施設の被害状況の調査・応急復旧工事へ着手しました。いまや日本の大動脈とも言える東北新幹線では過去例のない約500kmの区間で被害が発生しながらも、地震発生の日より49日目の4月29日には全線復旧し、被災地の復興が加速する足掛かりとなりました。



本震(3,11)による被害状況(2層の破損)



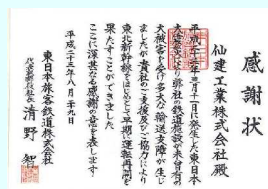
瓦礫の撤去状況(仙石線)



仙台駅復旧状況

◆ 感謝状を頂いております

東日本大震災においての当社の取組に対して、東日本旅客鉄道株式会社をはじめ各所より感謝状を頂きました。これからも復興に向け、引続き貢献していきます。



エスパル保育園に避難待機場所として現場事務所を提供しました。



持続可能な社会の実現に向けて



事業概要

当社では、土木構造物・建築物・線路施設の設計、施工から廃棄にまで至る環境に与える影響等を多方面から検討し、環境にやさしく安全な技術を採用しています。

住環境へ配慮し、苦情ゼロへ

鉄道に関連した土木構造物の騒音対策や、無振動・低騒音・無排土による環境負荷低減に非常に優れた工法等、地域の環境へ大きく貢献しています。

◆ 三陸鉄道復旧事業

岩手県宮古市～久慈市を結ぶ三陸鉄道北リアス線の復旧事業を手がけ、田野畑 - 陸中野田間が今年4月1日に運転再開しました。津波被害から早期復旧を望む声に応えるべく、大幅な工期短縮をおこない、環境負荷の低減にも寄与しました。



◆ 震災復旧事業



地震により破損沈下した建物基礎をジャッキアップ工法により、被害部分のみを改築することで、建設副産物の排出を大幅に削減することができました。

◆ 李埤こ線橋新設工事

国道108号の古川東バイパス整備事業の一環として、JR陸羽東線を交差するこ線橋を新設する工事です。夜間作業もあることから、特に騒音に対する対策を十分考慮し施工を進めています。





マネジメントシステム／法令等順守



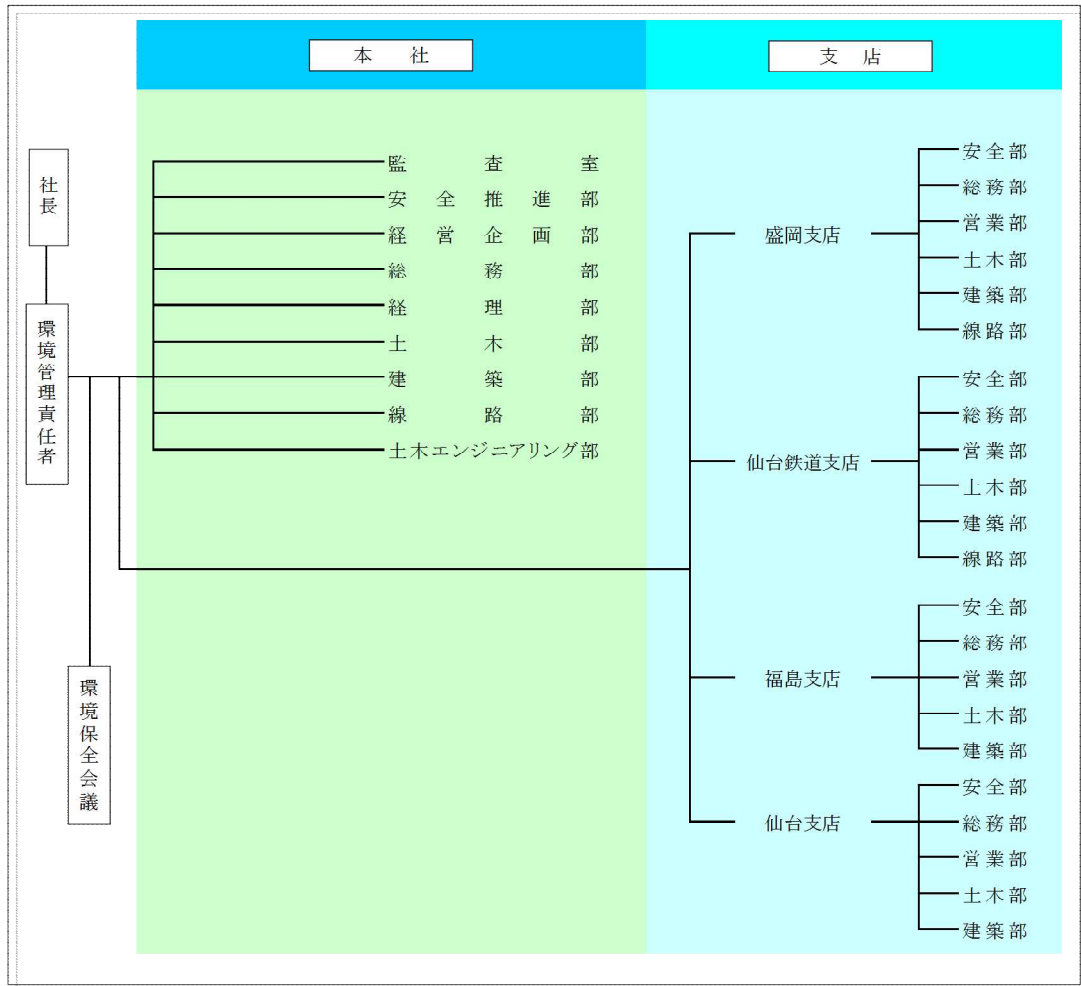
環境マネジメントシステム

当社は、環境方針、環境目標を達成するために、全社でEMS（環境マネジメントシステム）を構築し、実施し、維持改善をしています。環境に関する組織体制は下図の通りです。

内部監査は、現場で行う実地監査を年1回、社内施工検討会や部門パトロールで行う内部監査をその都度行っております。

なお、審査登録機関は（財）日本品質保証機構〔JQA〕です。

【組織体制】



法令等順守

2011年度、当社では環境関連法規制に関する違反は発生しておりません。

当社は、社内にコンプライアンス・リスク管理委員会を立ち上げ、監査室監査を実施し、法令順守等の体制強化を図っております。

今後も法規制等に違反の無いよう、社員に周知徹底を図り業務を進めてまいります。



目標と実績、評価

環境目標3ヵ年(2011年～2013年)の初年度にあたる2011年度の実績は、以下の一覧表に示すとおり各部門とも概ね達成できました。しかし、オフィス部門の「オフィスごみのリサイクル率向上、再資源化率77%」および土木・建築部門における目標で「2010年度を基準年度として年間電力使用量を基準年比で10%削減し維持する」において、目標に届きませんでした。2012度も目標達成に向けて、活動内容を見直し、目標達成を目指して再チャレンジします。



2011年度目標と実績、評価の一覧表

【オフィス部門】

× : 目標未達成

○ : 目標達成

分類	2011年度環境目標	主な活動内容	2011年度	
			実績	評価
環境保全	1. 2010年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で10%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ● クールビズの徹底 ● 事務室の温度設定(夏期28℃) ● LED等高効率照明への切替 ● その他 	全社平均 27.0%削減	○
	2. オフィスごみのリサイクル率の向上 2011年度 再資源化率目標77%	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ分別の徹底 ● 目標値と実績値のグラフ化 ● 環境パトロールの実施 ● その他 	全社平均 74.4%	×
環境経営	3. 自社ビル周辺の清掃活動 2011年度目標 参加率60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ● 美化活動の自覚教育・訓練 ● 目標値と実績値のグラフ化 ● EMS推進者会議でのフォローアップ ● その他 	全社平均 74.2%	○
	4. 公的機関の主催する植林等 環境社会貢献活動への参加 2011年度目標 年4件/全社以上の参加	<ul style="list-style-type: none"> ● 関連情報の収集 ● 関係部・所への通知 ● 参加者の確認 	全社 9件	○

【土木部門】

× : 目標未達成

○ : 目標達成

分類	2011 年度環境目標	主な活動内容	2011 年度	
			実績	評価
環境保全	1. 2010 年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で 10%削減し維持する。 (達成率 100%)	<ul style="list-style-type: none"> ● 空調温度設定の変更(夏期 28℃) ● 事務室照度の低減(間引き等) ● 照明、事務所機器のこまめな電源OFF 他 	全社平均 95.0%	×
	2. 建設副産物関連の適正管理の維持 最終達成目標 全作業所の平均点 80 点以上 「環境目標管理チェックシート」で作業所の実施状況を評価し、採点する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設副産物関連の適正管理の教育・訓練 ● 環境パトロールによる現場指導 ● マニフェストの適正管理 他 	全社平均 88.6 点	○
環境配慮	3. 環境配慮設計提案事例集の作成と関係部署への周知 一工事あたり環境に配慮した設計提案 2 案以上行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全の技術情報の収集 ● 設計スタッフによるブレインストーミング ● 環境配慮設計の有効性の検証 ● 「環境配慮設計集」のDB化 	100%実施	○

【建築部門】

× : 目標未達成

○ : 目標達成

分類	2011 年度環境目標	主な活動内容	2011 年度	
			実績	評価
環境保全	1. 2010 年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で 10%削減し維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 空調温度設定の変更(夏期 28℃) ● 事務室照度の低減(間引き等) ● 照明、事務所機器のこまめな電源OFF 他 	全社平均 9.9%	×
生活環境保全	2. 地下(躯体)埋設物・架空線破損ヒヤリ事故の削減 地下(躯体)埋設物・架空線破損事故総件数 (3 件未満)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育・訓練の実施 ● 発注者、自治体の記録による事前確認 ● 防護・識別処置 他 	0 件	○
環境保全	3. 建設副産物関連の適正管理の維持 最終達成目標 全作業所の平均点 80 点以上 「環境目標管理チェックシート」で作業所の実施状況を評価し、採点する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設副産物関連の適正管理の教育・訓練 ● 環境パトロールによる現場指導 ● マニフェストの適正管理 他 	全社平均 85.7 点	○
環境配慮	3. 環境配慮設計提案事例集の作成と関係部署への周知 一工事あたり環境に配慮した設計提案 2 案以上行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全の技術情報の収集 ● 設計スタッフによるブレインストーミング ● 環境配慮設計の有効性の検証 ● 「環境配慮設計集」のDB化 	100%実施	○



建設副産物対策



建設副産物対策

建設副産物は、極力現場に持ち込まない、減量する、再使用する、再資源化するという3Rの活動を通して、「混ぜればゴミ。分ければ資源」を合言葉に資源の循環使用に努めています。

3R活動



現場での3R活動（ゴミの分別収集）

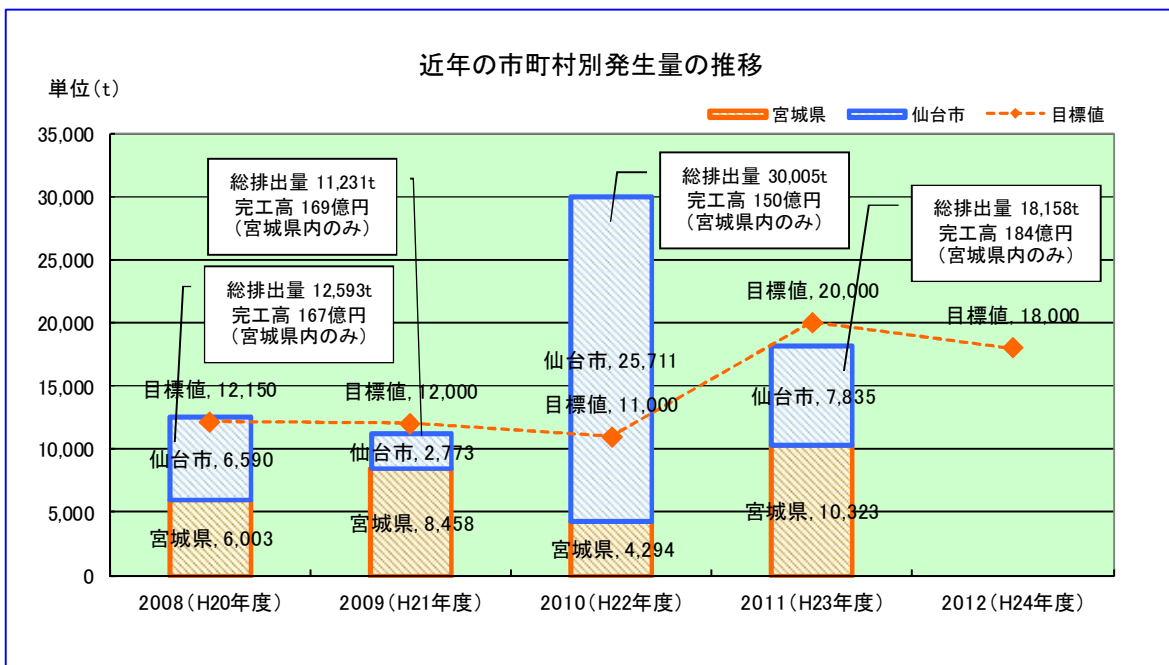
当社では、まず不要となる「発生物」を減らすことを考え、建設資材の輸送のための梱包を減らし、施工時に発生する資材のロスや副産物を減らすよう努めています。又、リサイクル活動として、建設資材はお客様の合意が得られれば再生材の使用を優先しています。更に現場で発生するゴミの分別を徹底し、資源の再資源化に努めています。環境活動は作業員一人ひとりの自覚が重要な要素となることから教育・訓練を実施し、周知徹底を図っています。

建設混合廃棄物発生量の削減

土木・建築部門では全社で混合廃棄物発生削減のために、現場で出来るだけ廃棄物の種類ごとに分別する活動に取り組んでいます

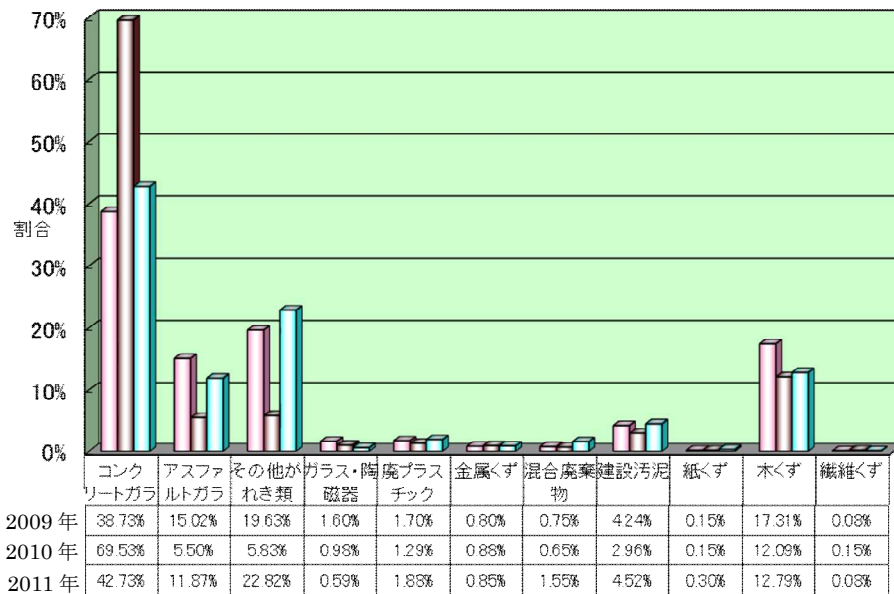
産業廃棄物発生量の推移

本社、仙台鉄道支店の土木、建築、線路部門の産業廃棄物発生量は以下のようになっています。

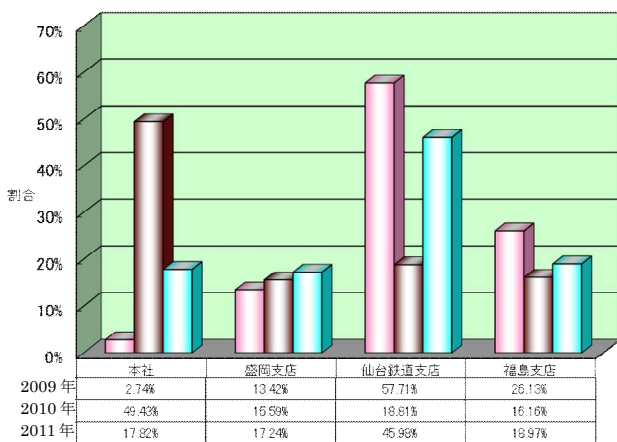


● 産業廃棄物の品目別、支店別、部門別発生量

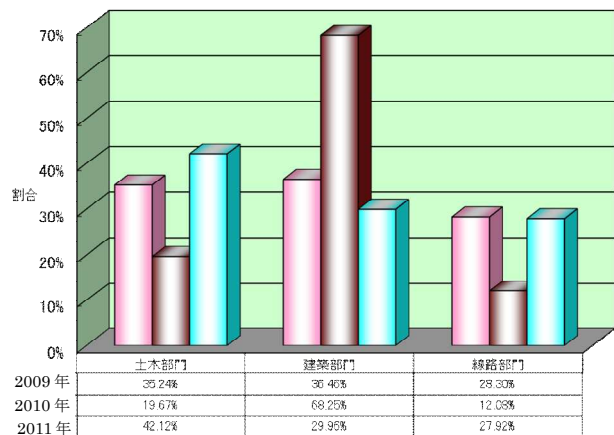
3年間の品目別発生量の割合



3年間の支店別発生量の割合



3年間の各部門別発生量の割合



2011年度、現場から出る産業廃棄物の排出量は、2010年度に立てた「削減目標値」を達成することが出来ました。2008年度～2009年度の削減目標値と比較すると、目標値が増えているのは、当社の最近の受注傾向として新規物件よりも建築リニューアル部門の改修工事の増加が上げられます。改修工事は新築工事に比べるとどうしても廃棄物の増加が避けられない状況にあります。受注産業である建設業の特徴として、廃棄物排出量が受注内容の動向に大きく左右される傾向があります。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災により津波被害を受けた沿岸部のがれき撤去に伴う処理も増加の一因になっています。



地域貢献活動への取り組み



環境ボランティア活動

当社では地域貢献としてボランティア活動の目標を定め、植樹や清掃作業に定期的に参加しています。

いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動（福島支店）

H24.06.06（水）いわき市小島町地内の新川河川敷でゴミ拾いを行いました。参加人数は、当社からは11名の参加となりました。（右写真）



町内会美化活動（盛岡支店）

H23.06.08～H23.10.12 盛岡駅前新町町内会清掃活動に参加して町の美化を行いました。（左写真）

アレマキャンペーン関連イベント（本社・仙台鉄道支店）

H24.06.01（金）仙台市の玄関口であるJR仙台駅周辺と中央通りにおいて、ポイ捨て防止キャンペーンを行われました。当社から11名が参加しました。（右写真）



JR東日本 猪苗代植林「ふるさとの森づくり」

（本社・福島支店）

H24.05.26（土）福島の猪苗代で鉄道林の再生（JR東日本）を行われました。参加人数は、当社から18名が参加しました。（左写真）



広瀬川1万人プロジェクト（本社・仙台鉄道・仙台支店）

H24.04.21（土）広瀬川河川清掃活動（仙台市）が行われました。当社からも42名が参加しました。

（右写真）



地球温暖化防止への対策



2011 年度～2013 年度の新環境目標

地球温暖化対策防止として、2011 年度～2013 年度の新環境目標をしっかりと定め、環境負荷の低減を積極的に取り組んでいます。

オフィス部門	1	2010 年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で 10%削減し維持する。
	2	オフィスゴミのリサイクル率向上 2012 年度 再資源化率 78%向上
	3	自社ビル周辺の清掃活動 2012 年度目標 参加率 70%以上
	4	公的機関の主催する植林等 環境社会貢献活動への参加 2012 年度目標 年 4 件以上の参加
土木部門	1	2010 年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で 10%以上削減し維持する。
	2	建設副産物関連の適正管理の維持 2012 年度目標 全作業所の平均点 85 点以上 「環境目標管理チェックシート」で作業所の実施状況进行评估し、採点する。
	3	環境配慮設計提案事例集の作成と関係部署への周知 一工事あたり環境に配慮した設計提案 2 案以上行う
建築部門	1	2010 年度を基準年として年間使用電力量を基準年比で 10%以上削減し維持する。
	2	地下(躯体)埋設物・架空線破損ヒヤリ事故の削減 地下(躯体)埋設物・架空線破損事故総件数(件)
	3	建設副産物関連の適正管理の維持 2012 年度目標 全作業所の平均点 85 点以上 「環境目標管理チェックシート」で作業所の実施状況进行评估し、採点する。
	4	環境配慮設計提案事例集の作成と関係部署への周知 一工事あたり環境に配慮した提案事例 2 案/年以上行う



仙建工業 クールビズ・ウォームビズ宣言 2012

私たちは、オフィスや作業所において、過度の冷房や暖房をしないよう室温を冬 20℃、夏 28℃設定に心がけ、重ね着をしたり、ネクタイを外したりして省エネに取り組み、服装から地球温暖化防止に貢献する「ウォームビズ」、「クールビズ」運動に取り組んでいます。



仙建工業クールビズバッジ





環境配慮技術(1)



土木部門

鉄道や道路の下を横断する構造物を構築

HEP&JES工法

- エレメント内を掘削しながらPC鋼より線により引っ張って貫入するHEP工法と継手を有した鋼製エレメントを、継手相互で連結させ本体構造物として利用するJES工法を融合した工法である。
- 貫入したエレメントがそのまま構造物となる。
- JES継手により精度の高い施工が可能となる。
 - 工期の短縮が可能なることから、使用機械の稼働時間が少なくて済みCO2排出量の削減が可能となります。



橋台部施工状況



完成

仙石線 磯崎こ道橋

● 施工実績

工事名	場所	構造
古城こ道橋	岩手県奥州市前沢区古城地内	$(2.3+7.5) \times 6.2 \times 17.9\text{m}$
高平踏切付近排水路	宮城県多賀城市高平地内	JESエレメント式仮橋台 $3.6 \times 4.0 \times 21.1\text{m}$
磯崎こ道橋	宮城県松島町磯崎地内	JES門型ラーメン橋台 $0.85 \times 5.1 \times 8.0\text{m}$
高野川橋りょう	宮城県仙台市宮城野区小鶴地内	$1.3 \times 9.7 \times 31.3\text{m}$
太平寺こ道橋	福島県福島市太平寺地内	$15.5 \times 6.2 \times 12.0\text{m}$
厨川駅構内地下自由通路	岩手県盛岡市厨川地内 (IGRいわて銀河鉄道厨川駅)	$2.6 \times 4.2 \times 32.6\text{m}$



環境配慮技術(2)



建築部門 (技術ライセンス取得工法)

高性能な省エネルギー化を実現した外断熱工法

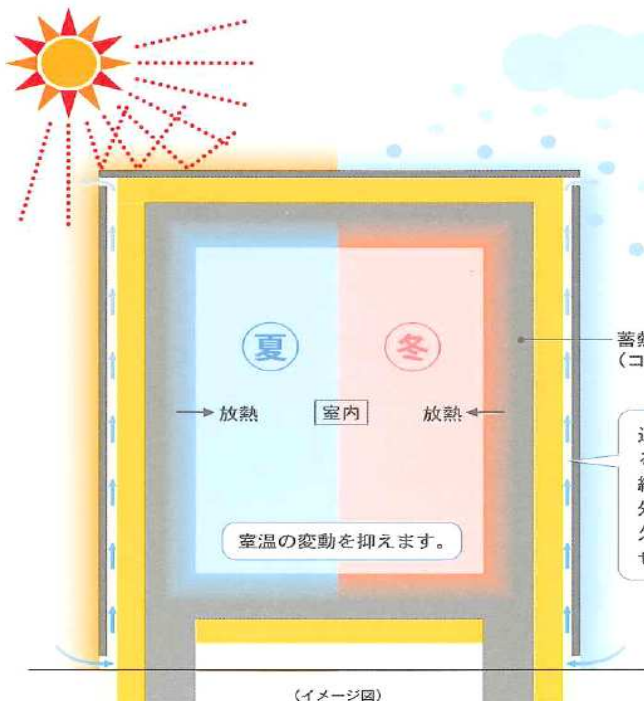
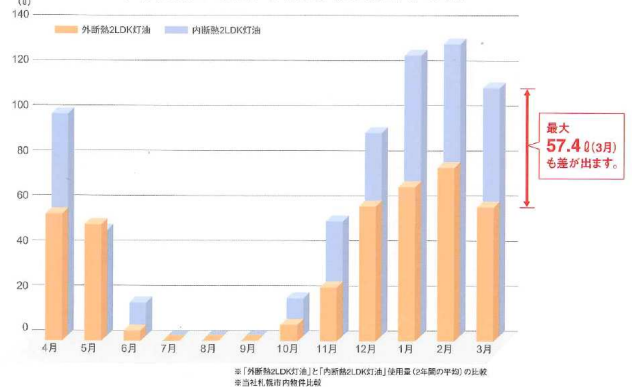
外断熱ハイパール工法

【従来の内断熱から外断熱の発想へ】

外断熱工法(ハイパール工法)とは、限りある地球の資源の中で、建物の耐久性を増すことにより資源の無駄遣いを低減します。

内断熱工法と比較して暖房費が軽減でき、断熱性能に優れ、ゴミ問題や省エネ、CO₂の削減に役立っています。また、気密性の確保を通じ、換気と室内温度のコントロールが容易になり居住者の快適向上に役立っています。内断熱工法は結露を防止できませんが、外断熱工法は、室内空気を排出し新鮮な空気を取り入れ湿気を排出することで結露を防ぎハウスシック症アレルギーなどの原因となるダニ、カビによる健康問題がほとんどありません。自然と人にやさしい環境共生工法です

外断熱は暖房(灯油)使用量もお得



独自発想が生み出す「ハイパール工法」の

結露・カビが発生しにくい

夏涼しく冬暖かい

全居室の温度差が少ない

工期短縮によるコストメリット

省エネ性能

CO₂排出削減

高耐久性・高耐震性

優れた遮音性

長寿命・産業廃棄物対策

壁式構造で間取り変更が容易

冷暖房費を大幅削減



教育・訓練



環境負荷低減への取り組みへのレベルアップ教育

一般社員、協力会社社員に対する環境負荷についての啓発、教育に力を入れております。

環境に対する自覚教育

社員、協力会社社員に対して、現場での活動がどんな影響を環境に与えるのか、法的には何を順守しなければならないのかなどについて自覚教育を行いました。



社員研修会



作業所における従事員教育



電気使用制限令に対する取り組み

仙建ビル事務室の照明を蛍光灯照明から消費電力の少ないLED照明に取り替えました。また、仙建ビルテナントには節電への取り組みについて協力を依頼しました。



LED照明への交換



テナントへの説明



【事業所所在地】

本 社	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町二丁目2-13	TEL 022-225-8511
盛岡支店	〒020-0033	岩手県盛岡市盛岡駅前北通り4-5	TEL 019-653-1466
仙台鉄道支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町二丁目2-13	TEL 022-225-8502
福島支店	〒960-8068	福島県福島市太田町5-1	TEL 024-535-3386
仙台支店	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町二丁目2-13	TEL 022-369-9037

[営業所]

青 森	〒038-0011	青森県青森市篠田3丁目8-18	TEL 017-766-2447
八 戸	〒039-1101	青森県八戸市大字尻内町字鴨ヶ池 122-6	TEL 0178-27-2416
郡 山	〒963-8811	福島県郡山市方八町1丁目1-30	TEL 024-944-1151
会津若松	〒965-0025	福島県会津若松市扇町36	TEL 0242-22-1840
いわき	〒973-8411	福島県いわき市小島町2丁目8-2	TEL 0246-26-3011

発行	: 仙建工業株式会社
お問い合わせ先	: 経営企画部 経営企画課
TEL	: 022-225-8536
FAX	: 022-222-4677
次回発行	: 2013年6月予定